



だれもが取れます、開けます。 この資格で、お国自慢の味のお店を、 あなたも出せることを知っていましたか？

- ★★－ もし、あなたが料理好きでしたら、将来、母国の家庭 －★★
★★－ 料理の味を伝えるお店を開くことも夢ではありません －★★

今、日本では世界中の国の料理を提供するレストランがあり、日本人にとって、そういうお店で食事をするのは大変人気があります。アジア各国の料理から、イタリア、フランス、中近東と、多種多様の料理が楽しめ、グルメには天国のような環境です。

「ふじみの国際交流センター」のあるふじみ野市でも、インド、フランスとさまざまな国のレストランがオープンしています。センターのスタッフもおいしい物に目がないので、新しいお店が出来るはずと話題にのびります。

どうですか、腕に自信のあるあなた、お国自慢の料理のお店を開業してみませんか。飲食店を開くのはそれほど難しくありません。法律的な必要事項は主に三つです。

★一つめは、あなたのお店が保健所の許可が取れる施設であること。 例えば、キッチンにシンクが2槽以上あることや、給湯設備があること、トイレに手洗いがあり石鹼液があること等です。

★二つめは、あなた、もしくはお店の従業員の一部が、食品衛生責任者の資格を持っていること。 日本の法律では、一つの店舗に一人以上、この資格を持っている人をおくことが義務付けられています。しかしこの食品衛生責任者の資格を取ることは難しくありません。

資格取得のための講習は一日で終了します。講習会では、店舗の清潔を保って食中毒を防ぐために、衛生法規、公衆衛生学、食品衛生学を学びます。受講終了後にテストがあり、パスすれば資格者証が交付されます。講習会は各都道府県・政令指定都市で開かれますので、近くの保健所に問い合わせてください。受験料は一万円ほどです。

★三つめは、飲食店営業許可申請に必要な書類を揃えます。

お店の図面と、お店付近の地図、水質検査票等を用意します。保健所備え付けの飲食店許可申請書に記入し、上記の書類と共に保健所に提出します。その際、手数料を支払います。また、同時に、店舗チェックの日時を決めます。

後日、保健所の職員が来て、お店が一つめの条件を満たしているかどうかを調べます。問題が無ければ、一週間以内に、営業許可証を受け取れます。さあ、これであなたもレストランのオーナーです。いかに自国の料理がおいしいか、日本人に教えてあげてください。

注：各都道府県・政令指定都市で店舗設備として要求されるものや、必要書類などが少し異なることもありますので、必ず近くの保健所にお問い合わせください。



▲スリランカレストラン
インドラーニ・ヤマンゲさん
のお店（ふじみの市）
2000年8月開店

www.ficcc.jp/foreign/

●「インフォメーションふじみの」のバックナンバーを見ることができます

「個別成人歯科健診」で、自分の歯の健康をチェックしてみませんか！

●「個別成人歯科健診」・・・歯は無くなってからでは遅いのです。元気な時に歯の検診を受けてみましょう。ふじみ野市では、40歳から5歳おき70歳の方までを対象に、健診希望者募集を11月までの期間で始めました。希望者は、ハガキに「個別歯科健診」と書いて、①氏名（ふりがな）②生年月日 ③年齢 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥受診希望医療機関（場所が不明の時は「上福岡保健センター（264-8292）」でおたずねください）を書き「上福岡保健センター（ふじみ野市福岡1-2-5 総合センター「フクトピア」内へ送ってください。申し込みは一人1通です。受診決定者には「健診表」を同封いたします。

土曜日は「国際子どもクラブ」の日です。学習指導に全力を注いでいます

夏休みも半ばになりました。夏まつ盛りで、体力作りに励んでいる子どもさんの悩みは宿題です。そんな子供さんには、「国際子供クラブ」が勉強のお手伝いをしています。日本語を母語としない児童・生徒への学習支援をおこなっています。火曜日・土曜日の10時から12時までです。一気に宿題をやってください。

日本語教室 発 夏本番です！ 浴衣（ゆかた）とそうめんを楽しむ会

毎年多くの人でにぎわう、ふじみ野市の七夕祭りは1カ月遅れの8月に実施されます。今年は7日、8日の二日間です。センターの日本語教室でもこの時期に合わせて「浴衣の着付け体験」を行います。8月5日12時からです。さっぱりしたそうめんを食べながら、浴衣姿の思い出作りに参加しませんか。すべてが無料ですので、知り合いを誘って遊びに来てください。



毎年多くの人でにぎわう、ふじみ野市の七夕祭りは1カ月遅れの8月に実施されます。今年は7日、8日の二日間です。センターの日本語教室でもこの時期に合わせて「浴衣の着付け体験」を行います。8月5日12時からです。さっぱりしたそうめんを食べながら、浴衣姿の思い出作りに参加しませんか。すべてが無料ですので、知り合いを誘って遊びに来てください。

外国籍市民の目・不思議な日本人の風習

神田 歩

日本で長年生活していると話の中で「何型？」なんて聞かれた経験があるかと思います。日本の文化を知らないと一体自分は何のタイプを聞かれているのだろう、なんて思い悩んでしまうかもしれませんが、ネイティブの日本人はそんなことを聞き返すことはありません。「何型？」と聞かれたら日本人の38%が「A型」と答えるのです。

もう勘付かれた方もいらっしゃるかもしれませんが、この「型」というのは「血液型」について聞いているものなのです。日本では血液型性格分類（血液型占い）というものを信じる人が多くいます。これはテレビや本の影響が強く、最近特にブームになっているもので血液型別に性格判断をすることがあり名前や誕生日を聞くように血液型を聞く習慣があるからです。日本人の血液型分布としては、A型38%、O型31%、B型22%、AB型9%となっておりA型はまじめで優柔不断、B型はマイペースで独自のこだわりがあり、O型は社交的でストレート、AB型は二面性のある天才肌など血液型別で性格判断をする傾向があります。

この考え方は日本、韓国、台湾などアジア圏では浸透している考え方ですが、その他の国ではあまりなじみがなく不思議がられるようです。みなさんもお友達に血液型を聞いてみてください、新しい発見があるかもしれませんよ。

地震に備え避難場所の確認を！ ハザードマップをもらっておきましょう

頻繁に起きる地震情報。いつ大きな災害の被害にあうかわかりません。そのためにはひごろから避難場所を決めておき、家族が集まる場所にしておきましょう。富士見市、ふじみ野市では、新しい避難場所の地図を作りました。まだ手に入れていない方は、ぜひ用意してください。分からない方は、センターで準備して差し上げますので申し込んでください。

www.ficec.jp/living/

● 6カ国版の生活ガイドを掲載しています